

福岡県金融広報委員会  
福岡県立福岡魁誠高等学校  
金融広報中央委員会

## ■福岡（糟屋）の実施報告

### 「金融教育公開授業 in 福岡（糟屋）（福岡魁誠高等学校）」（11月18日開催）

福岡魁誠高等学校は、大正元年に農学校として創立され本年創立103周年を迎えた学校です。平成15年、総合学科高校として再スタートを切り、「至誠、礼節、勤労」の校訓の精神を引き継ぎながら、生徒一人一人が作成した時間割で学び、自らの進路を切り開く、主体性をはぐくむ教育を展開しています。

11月18日（水）に金融教育公開授業を開催し、公開授業を4講座、全校生徒を対象にダニエル・カール氏による講演会を行いました。

#### ▼ 参加者内訳：

生徒 805名 保護者 17名 開催校職員 53名 教育委員会 1名 他校教員 6名 地域の方 13名、合計 895名の参加です。

#### 1. 公開授業

##### (1)1年 英語

「よりよい消費者になるために」と題して、コミュニケーション英語Ⅰの授業を行いました。生徒たちは、まず身近で使われているカードを、プリペイド・カードとクレジット・カードに分類し、その違いについて考えました。その後、クレジット・カードがどのようなものであるかということ、そのメリットとデメリット、使用する際にどのようなことに気をつけるべきかということについて、クレジット・カードに関して書かれた英語の文章から読み取りました。



公開授業 1年 英語  
「よりよい消費者になるために」の様

##### (2)1年 公民

「自立のために必要な支出～卒業後の暮らしと気を付けるべきトラブル～」と題した授業を行いました。

最初に、金銭管理力のチェックを行った後、ワークシートを用いてグループで卒業後にかかる月々の生活費を計算しました。

食費、住居費、光熱費、家具費、保険費用など高校生が考えているよりも月々の出費が多額であることや、金銭の管理の重要性を学び、その上で「お金が足りないときにどうやってほしいものを買うのか？」をグループで話し合い発表を行いました。



公開授業 1年 公民  
「自立のために必要な支出～卒業後の暮らしと気を付けるべきトラブル～」の様

最後に、クレジットカードの注意点を学ぶことで、日常のお金の使い方をしっかりと考えることができれば、様々な消費者問題の発生を未然に防ぐことができるということを学びました。

生徒からは「月々の生活費が想像以上にかかることが分かった」「クレジットカードの仕組みを知ることができた」「今からの生活でお金の使い方を気を付けていきたい」などの声があり、生徒自身が自らの人生を考える場として役に立ったという感想が寄せられました。

### (3)2年 保健

スポーツと金融の関係性を考える授業として「スポーツを経済から考えよう」と題した授業を行いました。

ペアやグループ学習、またICT機器を活用することにより、興味関心を深めるとともに、スポーツ業界のお金の動きを理解しやすいように視覚的に授業を行いました。

オリンピックと公認スポンサーの歴史並びに、支援金と広告許可の関係性について学びました。また、オリンピック招致により生まれた需要が、様々な産業の生産を誘発していく経済波及効果についても学びました。



公開授業 2年 保健  
「スポーツを経済から考えよう」の模様

スポーツを「みる」「する」の2つの視点から、我々がどのようなところで消費者としてかかわっているか、どのようなかかわり方ができるかについてもグループ学習等を通して考え発表することができました。

生徒からは「スポンサーの仕組みについて分かりやすく学ぶことができました」「自分も気付かない内に、スポーツ産業の消費者になっていることを知り驚きました」「これから、スポーツとかかわりながらお金の使い方についても考えていきたいです」などの感想が寄せられました。

### (4)2年 数学

「利息の仕組みとローン」と題して、数学と金融を融合した授業を行いました。数学の学習を通じて習得した等比数列の知識を活用して、ローン計算をする際に陥りやすい間違いについて学ぶことができました。また、利息やローンに関する金融に関する基礎的な用語を説明し、自己と他者の考えを比較する場の設定をすることで、注意すべき点をまとめていきました。

複利法による計算の仕方では、元利合計が次の期間の元金となることを伝え、ローン計算においても、元金の定め方を強調しました。また、 $A$  ; 元金,  $r$  ; 月利,  $n$  ; 月数として毎月の元利均等返済額の一般式  $\frac{Ar(1+r)^n}{(1+r)^n - 1}$  を



公開授業 2年数学  
「利息の仕組みとローン」の模様

示すことで、数学が日常生活で利用されていることを学ぶ機会になりました。次回の授業の予告として、元利均等返済は等比数列の考え方で証明ができることを伝えました。

まとめでは、生徒から「計画的にローンを立てる」や「お金を借りないで、出来るだけ現金で払えるような自分でいたい」「計算法を自分で確認できる力を身に付けたい」などの意見が出され、今回の金融教育公開授業が、数学的な視点で、生活設計のための知識や考え方を身に付ける機会となっていました。

## 2. 講演会

ダニエル・カール先生から「賢い消費者になるためのお金の話」と題する講演が行われました。

まず、日本に留学してきた当初のことをお聞きすることで、私たちが当たり前だと思っているお金に関する考え方は世界共通ではないということがわかりました。また、カール先生のアメリカでの幼少期や祖父・父親の話を通してアメリカでは金融・金銭教育がどのように行われているかということをお聞きしました。次に、現在の日本での生活のお話から、日本はお金に関する会話をタブーのように考えているということに気づくことができました。最後に、将来社会に出て困ることがないように、お金に関する会話を家庭内で、また親子間で小さい時からしておくことや、お金に関して疑問に思うことを何でも尋ねてみることの大切さについてアドバイスをいただきました。

生徒からは「お金を借りたことがありますか？（銀行には借りたことがあるが、友人からは無い）」「今までで一番大変だったことは何ですか？（ハーフマラソンを走らなければいけなかったこと。ドラマで意地の悪い人を演じたとき）」「今回のギャラはどれぐらいですか？（苦笑されながら、マネージャーに聞かないとわからない）」など多くの質問が出され、楽しい時間を過ごすことができました。

生徒からは、「自分の子供の育て方をイメージしながら聞いた」「相場を知らないと損をすると学んだ」「自分の将来のためにも、もっと大人や親にお金について話そうと思った」などの感想が寄せられました。



講演  
「賢い消費者になるためのお金の話」の様

## 3. プログラム

13:35~14:25	公開授業	
		「よりよい消費者になるために」1年 英語
		「自立のために必要な支出 ～卒業後の暮らしと気を付けるべきトラブル～」1年 公民
		「スポーツを経済から考えよう」2年 保健
		「利息の仕組みとローン」2年 数学
14:45~14:50	開会挨拶	福岡県立福岡魁誠高等学校校長 古川浩輝
14:50~16:10	講演	「賢い消費者になるためのお金の話」ダニエル・カール氏
16:10~16:15	閉会挨拶	福岡県金融広報委員会事務局長 加来孝宏

以 上